

2018年10月1日(月)、「渋谷代官山Rプロジェクト」の保育所  
認定こども園「渋谷しぜんの国こども園(仮称)」が開園します！

～施設を活用したイベント開催や子育て支援施設の併設により、街に開かれたこども園へ～

東京急行電鉄株式会社

当社は、東横線の地下化によって新たに創出されたトンネル上部の線路跡地で推進する、2018年秋開業予定の「渋谷代官山Rプロジェクト」(以下、本計画)の保育所について、運営者を社会福祉法人 東香会に決定し、保育所型認定こども園「渋谷しぜんの国こども園(仮称)」(以下、本施設)として開園します。開園予定日は、2018年10月1日(月)です。また、株式会社THINK GREEN PRODUCE(以下、TGP社)が出店するホテルは、名称を「MUSTARD HOTEL」に決定し、2018年4月1日(日)から宿泊予約を開始します。

渋谷区では、2017年4月時点で266人の待機児童がいるなど、保育施設の増設や定員拡大などの対策を図っています。本計画地周辺には、住宅地が多く、特に新橋地区は、渋谷区における保育施設整備の「重点地域」に指定されています。本計画では、地域のニーズに応え、課題解決を目的に、こども園を新設します。

本施設では、0歳から5歳の定員114名の園児を受け入れ、短時間保育にも取り組むなど、周辺地域の子育て環境の充実を図ります。保育カリキュラムには、多様な体験創出や地域と身近な子育て環境の実現を目的に、親子参加型のイベントや本計画のホテル宿泊者との国際交流などを取り入れます。また、保育施設を活用し、地域の方々とともに楽しめるイベントを開催するなど、周辺地域と密着したこども園を目指します。

渋谷川沿いの遊歩道から繋がる自由通路に面する1階には、地域の方々立ち寄れるカフェや子育て支援スペース、ワークショップなどが開催可能な情報発信スペースを設けます。地域の子育て世代を支援するとともに、さまざまな人々が子育てを身近に感じられる場を提供することで、街に開かれたこども園として、新たな地域の魅力と賑わいを創出します。

TGP社の出店するホテルは、「街を楽しむための『隠し味』のような存在になりたい」という想いを込め、名称を「MUSTARD HOTEL」に決定しました。「人と街と文化が交わる場所であり、街が持つ魅力を引き立てる」というコンセプトのもとに、宿泊者や地域住民の交流する場として、1階にカフェ・ラウンジを備え、ドミトリーや個室など多様な人々のニーズに応えるさまざまな客室を提供します。なお、2018年4月1日(日)から、同年10月1日(月)以降の宿泊予約を開始します。

今後も、渋谷ストリームや官民連携による渋谷川の整備とともに本計画を推進し、渋谷～代官山の渋谷駅南側エリアを楽しく回遊していただくことで、渋谷が「日本一訪れたい街」となることを目指し、渋谷駅周辺および東急線沿線の価値向上に努めます。



▲こども園が開園するA棟外観イメージ



▲A棟自由通路イメージ



▲A棟こども園 内装イメージ

(提供:社会福祉法人 東香会)

詳細は別紙の通りです。

以 上

## <認定こども園「渋谷しぜんの国こども園(仮称)」について>

保育所型認定こども園として、保育園の機能の他に、保育が必要な子ども以外の園児の受け入れや、地域の子育て支援機能を備えます。

園児は保護者の働いている状況に関わりなく多様な保育を受けることができ、周辺地域の子育て環境の充実を図るとともに、子育て世代の多様な保育のニーズに応えるため、短時間保育などの取り組みも実施します。またカフェや子育て支援スペース、情報発信スペースなどが一体となった空間を創出し、地域の子育て世代の支援を行うとともに、さまざまな人々が子育てを身近に感じることでできる場所を設けることで、街に開かれたこども園として、新たな地域の魅力と賑わいを創出します。



▲A棟こども園 内装イメージ  
(提供: 社会福祉法人 東香会)

## ■コンセプト:「small alley」

“小さな路地裏”とは、その敷地の形状が線形であるという地形や大通りに対する裏的な環境を手掛かりに、さまざまな人ものことが共存できる場、状況をつくるための言葉です。子どもたちは自らの居場所を見つけ活動し、大人たちは程よい距離感でそこに寄り、共に生活をする、それが“小さな路地裏＝small alley”です。

■概要(※行政機関との協議状況により、今後内容が変更になる場合があります。)

○対象園児・定員:0歳～5歳(カッコ内は1号児数※)

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	6名	12名	18名	24名 (2)	27名 (2)	27名 (2)	114名

※子ども・子育て支援新制度における認定区分による1号認定を受ける園児数

(平成29年6月 内閣府子ども・子育て本部「子ども・子育て支援新制度について」より引用)

1号認定(教育標準時間認定):満3歳以上の小学校就学前の子どもであって、2号認定子ども以外のもの

2号認定(保育認定):満3歳以上の小学校就学前の子どもであって、保護者の労働又は疾病その他の内閣府令で定める事由により家庭において必要な保育を受けることが困難であるもの

3号認定(保育認定):満3歳未満の小学校就学前の子どもであって、保護者の労働又は疾病その他の内閣府令で定める事由により家庭において必要な保育を受けることが困難であるもの

○開園予定日:2018年10月1日(月)

○HP:<https://sizen-no-kuni.net/>

2018年3月より職員(保育士、事務員、調理員など)の募集を開始



▲A棟自由通路イメージ

## ■社会福祉法人 東香会について

運営実績:町田市の「町田しぜんの国保育園small village」など、3つの保育園、1つの学童保育クラブを運営。

特 徴:地域の子育て環境を支えるだけでなく、「大人と子どもの協同の場」を目指し、保育園施設を活用した親子参加型の音楽イベントを実施するなど、イベントや子育て支援、地域活動などを積極的にカリキュラムに取り入れています。



こども園運営  
齋藤 紘良  
社会福祉法人東香会  
理事長

町田しぜんの国保育園園長/作曲家。森の循環システム「里山文化」を体現するプログラムと、長期にわたりヨーロッパの福祉や文化を視察した経験をもとに、自然、表現そして食を基盤とした保育実践を行っている。映像番組への楽曲提供やさまざまな場所でのワークショップ、他ジャンルのアーティストとのコラボレーションを行う。子どもと大人を文化でつなぐレーベルsaitocnoや齋藤紘良 & ミラージュ楽団などを主催、チルドレンミュージックバンドCOINNメンバー、季刊誌BALLADをプロデュース。

「建物で溢れる都会の中で“しぜんの国”という名前の園を提示することは、少しばかりの勇気がいりました。しかし、よく渋谷の街を観察すると、見上げれば空があり、出歩けば草花があり、立ち止まると多様な事象と出会う環境が整っています。それらを“しぜん”と捉えるかどうかは自分次第だということに気がきました。さまざまな環境であって子どもたちにとっての最善の生活を考える場所こそが“しぜんの国”だと考えます。このプロジェクトの中で、大人と子どもがどのように渋谷の街を紡いでいくか楽しみでなりません。」



<「MUSTARD HOTEL」について>

TGP社が新たに開始するホテル事業の一号店となる本計画では、ドミトリーから個室までさまざまな客室タイプを持ち、1階のカフェ・ラウンジには宿泊者だけでなく、地域住民やオフィスワーカー、こども園の利用者など、多様な人々が集まり、交流する空間となります。また「LOG ROAD DAIKANYAMA」にてTGP社が運営する「GARDEN HOUSE CRAFTS」との一体的な運営やイベント開催などにより、地域の連携を深めるとともに、回遊性向上を図ります。

■コンセプト

より良い「街」と「生活」と「文化」づくりを提案するTGP社のホテル。人と街と文化が交わる場所であり、街が持つ魅力を引き立てる、そんな存在でありたいと考えました。ホテルを訪れた人たちが、「このホテルがある街は面白い」と感じる、そんな「街の隠し味」のようなホテルを目指します。

■ホテル名称:「MUSTARD HOTEL」

”街の隠し味”のような存在でありたいという想いを込めています。

■デザイン

有限会社TRIPSTERによる建物デザインと調和した内装デザインを実現。かつて渋谷～代官山間に存在した東横線の並木橋駅をデザインテーマに、24時間渋谷の街を遊ぶためのホテルを創出します。

■客室: (※今後の計画の進捗などにより変更になる場合があります。)

客室タイプ	部屋数	定員	面積
シングル	35室	1人/部屋	約7㎡~25㎡
ツイン・ダブル	35室	2人/部屋	約7㎡~32㎡
ドミトリー	6室	6人/部屋	約17㎡
合計	76室	141人	

※2018年4月1日から2018年10月1日以降の宿泊予約受付を開始予定



▲B棟ホテルエントランスイメージ



▲B棟ホテル  
1階カフェ・ラウンジイメージ



▲B棟ホテル客室イメージ  
(左:ドミトリー、右:ダブル)

<「渋谷代官山Rプロジェクト」の詳細について>

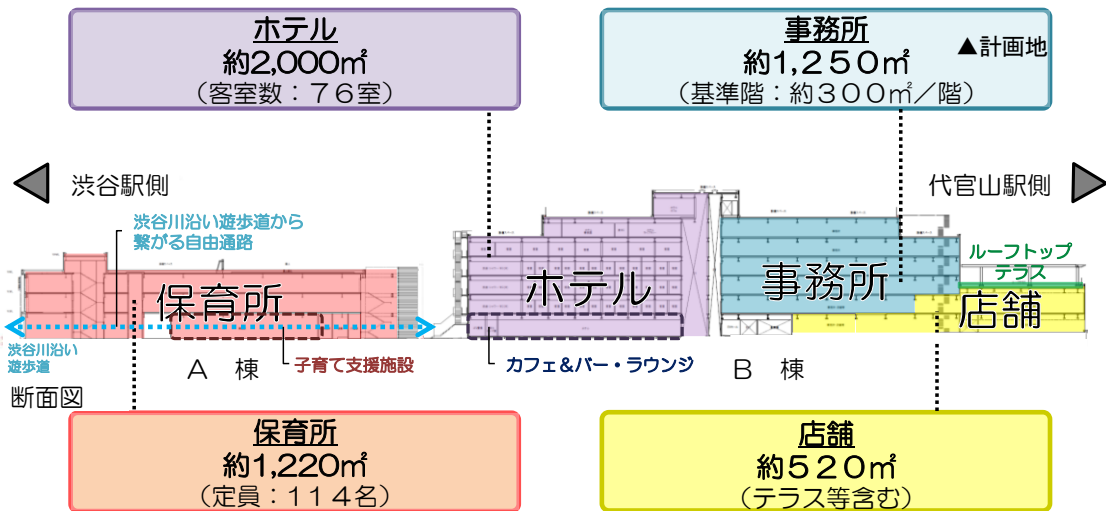
■プロジェクトメンバー

- 事業主: 東京急行電鉄株式会社
- プロデュース: 株式会社THINK GREEN PRODUCE
- 建築デザインディレクション: 有限会社TRIPSTER
- 設計監理: 株式会社東急設計コンサルタント
- 施工: 東急・大林建設工事共同企業体

■計画概要(予定)

	A棟	B棟
住所	渋谷区東1丁目29番1号	渋谷区東1丁目29番3号
敷地面積	724㎡	1,132㎡
構造・規模	鉄骨造 地上3階建	鉄骨造 地上7階建
延床面積	1,282㎡	4,370㎡
建物高さ	約15m	約26m
建物用途	保育所	ホテル・事務所・店舗
開業予定	2018年秋	





▲用途構成イメージ



▲こども園が開園する  
A棟外観イメージ



▲B棟外観イメージ  
(代官山駅側)

■コンセプト

かつて東横線が走っていた鉄道跡地を再生し、異文化・多世代をつなぐ、渋谷代官山R (Rail、Road、Reborn、Relay) プロジェクト。渋谷ストリーム、渋谷川沿いの遊歩道から代官山に賑わいをつなぎ、新たな人の流れを作るため、駅前とは異なる魅力を持つ機能・用途を複合させ、高感度で多様な人々が集まる場所を創造します。

広域渋谷圏における新たな都市機能を補完するとともに、多様な人々が集まることで地域独自の魅力創出に寄与し、世界へ渋谷の魅力を発信していくことを目指しています。

